

総領事からの活動報告(11月下旬～12月上旬)

平成 23 年 12 月 9 日
在マイアミ日本総領事
川原 英一

11 月下旬から 12 月上旬の期間中の主な当館活動について、以下、簡単に御紹介を申し上げます。

◆天皇御誕生日レセプション

12 月 1 日午後、当地の地方政府代表、経済界、大学関係者、領事団及び在留邦人代表の方々などをお迎えして、公邸で天皇御誕生日のレセプションを行いました。

今年 3 月 11 日、日本は東日本大震災・津波による甚大な被害を受けました。大震災の直後、陛下が、国民に対してのビデオメッセージを通じて、この未曾有の事態の中、被災者が生きる希望を捨てることなく、日本国民と共に乗り越えてほしいとの励ましのお言葉をお掛けになり、併せて世界各国元



首・国民からの支援と連帯のメッセージが寄せられたことを御披露されています。今回のレセプションでの当方からの御挨拶では、陛下から国民への呼びかけの内容を御紹介し、「友達作戦」に象徴されるように、米国政府・民間団体から大きな支援を頂いたことへの感謝の気持ちを申し上げました。また、予定された復興事業については、



世界に開かれていること、さらには、この時期に米市民が日本観光をされることが、日本支援となり、大歓迎すること、来春、日本から米国への桜寄贈100周年の機会にあたり、米国内各地で桜植樹関連行事が予定されていること等を御紹介。用意した東北地方のお酒をレセプションに参加された方へ試飲をしてもらい、喜んで頂けました。

(左下写真:ジム・ケーソン市長によるスピーチ)

(右下写真:河野鉄平氏による国歌独唱)



◆鹿児島大学医学部とマイアミ大学医学部の交流

鹿児島市とマイアミ市が姉妹都市関係を提携して21年目を迎えて、森・鹿児島市長夫妻がマイアミを御訪問されたことは、前回(11月中旬)の活動報告でお知らせを致しました。

さて、11月29日午後、鹿児島大学医学部5回生4名が、当事務所を訪問して近況を語ってくれました。

マイアミ大学と鹿児島大学との間では、相互の交換学生についての取極めが1993年に結ばれ、それ以来、鹿児島大学医学部の学生達が、ほぼ毎年のように当地マイアミ大学医学部提携先病院のジャクソン病院で研修生活を送っています。研修期間は1年ですが、3ヶ月を経たところでの感想をお聞きしたところ、それぞれが希望科目の病棟で大変に充実した研修の日々を過ごしていますとの元気な声が全員から戻ってきました。〈右上の写真〉



◆ワイナー・コーラルゲーブルズ市警本部長との懇談



11月末、コーラルゲーブルズ市のワイナー市警察本部長を公邸へお招きし、懇談を致しました。コーラルゲーブルズ地域は、凶悪犯罪が比較的少ないのですが、同市警トップとして、管轄地域だけでなく、周辺地域の動きも日頃から把握しておくことが必要であること、最近、ソーシャル・ネット・ワークという極めて便利な通信手段を用いたデモ集会も多くなっているため、このような動きに、特に注意をしています、と語っておられました。

◆日本企業向けビジネスセミナー開催

12月2日、今年2回目の当地日系企業駐在員のための中南米ビジネスセミナーが、総領事公邸で開催されました。当地JBA(日系企業団体)、JETRO及び当総領事館の共催で毎回行っており、今回は、アルゼンチン・ウルグアイの両国についてのビジネスセミナーを行いました。当方から、御挨拶と近況活動報告を行った後、松平アトランタ・ジェトロ所長及び杉山JBA代表の両氏からの御挨拶があり、サンパウロ・ジェトロ事務所の紀伊氏から、両国に関する政治・経済動向や日系企業、中国企業、欧米系企業の進出事情など、豊富な情報・データ等を駆使して、わかりやすい講演があり、大変に貴重なセミナーと懇談の機会となりました。



●デルレイビーチ市長との懇談

12月7日、京都府宮津市と姉妹提携関係のあるデルレイビーチ市の市庁舎にマクダフイー市長を訪問しました。同市長から、来年2月中旬、同市長ご夫妻他、同市国際交流関係者よりなる代表団が、宮津市と京都市を訪問する予定と伺いました。また、



他市同様、同市も厳しい財政事情にはありますが、市の最優先の取組み課題として、省エネ対策、天然ガス利用車の増加、工業用水として水再利用、太陽光発電の導入・実施などを着実に進めたい、今後、地元のため、観光産業ばかりでなく、バイオ関連産業など強化に力を入れたい、と抱負を語って頂

きました。（上側写真の右端の方が現市長、同左端の方は、シュミット前市長です。）

●森上美術館・日本庭園を訪問

同じ日、デルレイビーチ市にある公立の日本文化施設である森上美術館・日本庭園を再度訪問する機会がありました。三堀副理事長、トム・グレガセン文化部長の御案内により、時代の異なる6つの日本庭園、美術館を拝見出来ました。

三堀副理事長（右写真の右端の方です。日本庭園内の枯山水を背景に撮影）



から、1956年、同市に最初に来られた折、当時農業をされておられ、その後、自らの農園を市に寄付された森上助次さんとの偶然の出会いがあったこと、森上さんとは、それ以来の長いお付き合いをされていたこと、また、宮津市とデルレイビーチ市、藤沢市とマイアミビーチ市との間での姉妹提携を行うため、直接に仲介の労を取られたことなど、今回、お聞きすることが出来、大変に有意義なひと時を過ごせました。（了）